

第7回猪苗代町議会定例会 町長説明要旨

開会：令和5年9月4日(月)

本日、令和5年第7回猪苗代町議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様には、何かとご多用の中ご出席いただき、ご審議をお願いできますことに対しまして、深く感謝申し上げます。

提出議案等の説明に先立ち、当面する町政の諸課題につきまして、所信の一端を申し上げたいと存じます。

(新型コロナウイルス感染症対策について)

はじめに、新型コロナウイルス感染症対策について申し上げます。

新型コロナウイルス感染症については、県内82の医療機関での定点把握により 県内の発生動向が確認されており、定点把握による新規陽性者数の公表は、定点医療機関からの月曜日から日曜日までの1週間ごとの報告数について 翌週水曜日に公表されているところであります。

直近の8月30日に公表された 8月21日から27日までの一週間の定点報告数は 2, 121人であり、前週の2, 072人から49人の増となっておりますが、前々週の8月7日から13日のお盆前の週

は1, 174人で、その週と比較するとお盆明けには947人の増と約2倍近くに急増したところであります。

また、ワクチン接種については、8月末で65歳以上の方、基礎疾患を有する方、医療従事者の方への春開始接種が終了し、9月下旬から秋開始接種として生後6か月以上の町民の方への接種を開始するため準備を進めているところであります。

いずれにしても、新型コロナウイルスの特性は以前と変わっておらず、新規感染者も確認されておりますので、町民の皆さんには引き続き基本的な感染対策の徹底についてご協力をお願い申し上げます。

（農業情勢について）

次に、農業情勢について申し上げます。

本町農業の基幹作物であります水稻の生育状況がありますが、民間の米穀データバンクが発表した7月31日現在の作柄予想によりますと、全国の作況は「101」の「平年並み」、福島県は「103」で「やや良」の予想となっております。

本町でも、田植え後から梅雨明けまでは、平年に比べ曇りや雨の日が多く、日照不足となったことから生育の遅れが見られておりましたが、梅雨明け以降、気温も高く天候にも恵まれ、生育も回復し穂の出も早かったので、豊作を期待しているところであります。

また、国内の米の動向に目を向けてみますと、新型コロナウイルス感染症が、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律で5類感染症となったことから、人の流動や景気の動向、インバウンドが回復傾向となり、外食などの国内の米の消費が増加していることから、今年産の「主食用米」の価格の上昇が期待されております。

なお、本町では、これらアフターコロナの機会を逃さず、本町産米の販路拡大とブランド化、選ばれる産地づくりを推進するため、福島県や会津よつば農業協同組合、生産者団体などの関係機関並びに農業者の皆さんと協力しながら、国内外へ本町産米の魅力の発信やPR・販売促進を積極的に行い、農業者の経営の安定と所得の向上を目指し、機動性のある農業の振興に取り組んでまいります。

（鳥獣害対策について）

次に、鳥獣害対策について申し上げます。

はじめに、ツキノワグマについてであります、福島県では県内の出没多発を受け、クマ出没特別注意報を8月末まで発令しておりましたが、4月から8月にかけて、会津管内の6件を含む9件の人身被害が県内で発生しており、本町としましても警戒を強めてきたところでありますが、残念ながら8月12日に1件の人身被害が発生してしまいました。

なお、本町においてのクマの目撃数につきましては、対前年比で同数程度であります。人家近くでの目撃などの危険度が高い出没が多いため、随時、有害鳥獣捕獲にて対応しており、8月25日時点での捕獲数は9頭となっております。

また、クマ以外の有害鳥獣捕獲数につきましては、8月25日時点で、ニホンザルが6頭、イノシシが16頭、ニホンジカが1頭となっております。

今後も、鳥獣の位置情報などを発信する「獣マップ」による的確な情報提供や電気柵等 設置補助事業を推進するとともに、有害鳥獣駆除員との連携を図りながら、鳥獣害対策への取り組みを継続的に実施してまいります。

（観光振興対策について）

次に、観光振興対策について申し上げます。

本年1月から6月までの「道の駅猪苗代」を含む本町の主な観光施設の延べ入込客数は約124万人で、前年同期の約100万人と比較すると約24万人、率にして約24%の増加となっております。

主な要因としては、冬期間における町内スキー場への入込客数が昨シーズンと比較して約5万3千人増となったことや、新型コロナの感染法上の分類が5月8日から季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられ 行動範囲が広がったことなどから、各種イ

ベントや各温泉地など 主要な観光施設においても
約 13 万 3 千人増となり、全国的な経済活動の加速化
によるものと考えられます。

今年の梅雨明けは、平年より 3 日早く、例年より暑
く好天な日々が続いていることで、猪苗代湖 湖岸沿
いの入込客数は増加傾向となり、磐梯まつりや天神浜
での「あいづサマースカイフェス」が開催されるなど、
以前の賑わいを取り戻してきております。

これから、紅葉の時期やスキーシーズンを迎えます
ので、秋のイベント開催や冬期間における観光情報発
信の充実を図りながら、一層の観光誘客に努めてまい
ります。

（風評被害対策について）

次に、風評被害対策について申し上げます。

復興支援イベントとして位置付けております、夏の
風物詩「いなわしろ花火大会」は、4 年振りに開催さ
れ、30 軒の出店が立ち並ぶ中、星の夜空に輝く大輪
の花を、多くの方々にご観覧いただくことができました。

また、震災後、特に低迷していた教育旅行の回復を
図るため、バス代を助成する教育旅行支援事業を継続
して実施しておりますが、今年も春先から問い合わせ
が多く、バス助成費予約件数では当初見込みの
590 台から 177 台増の 767 台、更に旅行代理店

への助成費予約件数では当初見込みの２００校から
８８校増の２８８校の予約受付となっております。

バス増加台数等の不足分に係る費用について 今議
会に補正予算をお願いし、引き続き教育旅行の回復と
風評被害の払拭に努めてまいります。

（緊急経済対策について）

次に、緊急経済対策について申し上げます。

金融支援としましては、町内金融機関に預託してい
る貸付金を運用資金としてご活用いただく、中小企業
経営長期安定資金融資などの制度資金の運用と併せ
て、信用保証料補給及び利子補給制度による補助金の
交付に引き続き努めてまいります。

また、金融支援のほか町内の経済対策として、現在、
全町民の皆さんに一人当たり１万円分の町民応援商
品券を配付し、新型コロナウイルス感染対策と町内
における消費活動の活性化につなげ、各事業所の経営維
持の支援に努めてまいります。

更に、秋から年末年始にかけて実施する「事業者経
営支援電子クーポン発行事業」及び、中小 小売店活
性化事業の「プレミアム商品券発行事業」では、昨年
と同様にプレミアム率を２０％とし、原材料や原油価
格高騰で経営に不安を抱える事業者の皆さんの支え
になるよう消費拡大を図り、経済の活性化対策に引き
続き努めてまいります。

（統合中学校整備事業について）

次に、統合中学校整備事業について申し上げます。
現在、開校して2年目の秋を迎えようとしております。

3年生が中心となり活動してまいりました部活動ですが、中体連福島県大会において、陸上部では「2・3年男子1500m」の部で2学年の星^{しゅうと} 柊斗くんが4位となり東北大会並びに全国大会に出場、柔道部では「63kg級女子」の部で3学年の小板橋^{みこ} 望香さんが準優勝して東北大会に出場、野球部では福島県スポーツ少年団 体育大会において見事に優勝、女子ゴルフ競技では「東北ジュニアゴルフ選手権競技 12～14歳」の部で3学年の半澤かな さんが3位となり全国大会に出場するなど、各競技において素晴らしい成績を収めております。

また、総合文化部では、磐梯まつりにおいて普段から取り組んでいるSDGsに対する活動の内容を紹介し、吹奏楽部も音楽パレードの合同演奏会に参加するなど、日頃の練習の成果を存分に発揮することができました。

さて、新 屋内運動場建築主体・旧校舎等解体工事につきましては、屋内運動場の建築工事が完成し、8月1日から供用を開始しております。

現在、旧 屋内運動場の解体工事を進めておりますが、昨年５月の工事請負契約締結後、物価上昇の影響を受けており、猪苗代町工事請負契約 約款に基づき賃金又は物価の変動に基づく請負金額の変更について、請負業者と協議を進めてまいります。

併せて、グラウンド整備工事では、土質調査を実施した結果、軟弱地盤対策が必要となったため、今後、工事請負変更契約の締結についてのご審議をお願い申し上げます。

（小学校の統合事業について）

次に、小学校の統合事業について申し上げます。

猪苗代小学校・千里小学校並びに吾妻小学校の給食室などの改修工事につきましては、夏休みの長期休業期間を中心に施工し、出来るだけ学校生活に支障を来たさないよう進めております。

なお、統合する学校間の交流ではありますが、運動公園での野口体育祭の練習時や、統合する小学校間において交流会を実施しております。

また、猪苗代第二小学校の校歌ですが、素案が完成し現在詳細について調整中であり、校章につきましても東京学芸大学の学生などからご提案をいただき調整している状況であります。

更には、各小学校の閉校準備委員会では、記念誌発行などの記念事業の準備を進めており、そのための補

助金交付や記念誌に関する情報提供など、引き続き支援してまいります。

（文化芸術の推進について）

次に、文化芸術の推進について申し上げます。

生涯学習と社会教育の推進につきましては、体験交流館「学びいな」や図書歴史情報館「和みいな」、総合体育館「カメリーナ」を、生涯学習・社会教育の拠点として、多くの皆さんにご利用いただいております。

「学びいな」では、町民の皆さんの文化活動を推進するため「夏祭り」と「秋祭り」を開催し、各文化団体の活動の成果を観ていただくとともに、町民の交流の場を提供しております。

また、22回を数えます「母から子への手紙」コンテストは、7月1日から募集を始め、全国から順調に応募をいただいております。10月2日で募集が締め切られ、今後、お母さん委員会の協力のもと一次選考や最終選考を実施し、表彰式を執り行います。

更に、「和みいな」では、開館10周年を記念し、「江戸時代の猪苗代 資料から探る城と神社」と題して、福島県立 博物館 副館長である高橋 ^{たかはし} 充 ^{みつる} 氏を

^{しょうへい} 招聘し、猪苗代の歴史について ご講演をいただきま

す。

今後もこれら文化施設の適切な運営と維持管理に努め、関係団体と協力しながら本町の生涯学習と文化芸術を推進してまいります。

（県高等学校駅伝・ふくしま駅伝について）

次に、福島県高等学校駅伝競走大会について申し上げます。

今年も、総合体育館「カメリーナ」をスタート・ゴールに、男子が第68回、女子が第41回となります。福島県高等学校駅伝競走大会が、10月26日に開催されます。

高校駅伝事務局では、駅伝コースの走りやすさや自然環境、宿泊施設の充実、交通規制の観点などから、本町での継続開催についての要望があり、平成26年度から連続して10回目の開催となり、本大会は全国大会の県予選も兼ねていることから40を超える参加校があり、事前現地練習等も含め、多くの選手や監督、役員の皆さんにご来町いただくこととなります。

本町といたしましては、コースの設営や運営役員等により人的支援を行い、大会運営に万全を期するとともに、町民の皆さんにもボランティアとしてご活躍いただき、「スポーツ振興宣言の町」猪苗代をアピールしてまいります。

また、第35回市町村対抗 福島県縦断駅伝競走大

会につきましては、昨年同様、白河から県庁までの
16区間での開催が予定されております。

猪苗代町のため懸命に「タスキ」をつなぐ選手の
皆さんを全面的にバックアップしてまいります。

（提出案件について）

最後になりますが、本定例会に提出いたします案件
は、

- ・ 専決処分の報告案件が1件、
- ・ 令和4年度の一般会計、特別会計及び事業会計に係
る歳入歳出決算の認定案件が4件、
- ・ 令和5年度の一般会計、特別会計及び事業会計に係
る補正予算案件が11件、
- ・ 条例の一部改正案件が2件、
- ・ 過疎地域 持続的発展計画の一部変更が1件、
- ・ 福島県市町村総合事務組合規約の一部変更が1件、
- ・ 教育委員並びに各地区 財産区管理会 委員の人事
案件が計43件の合計63案件であります。

各議案の細部につきましては、それぞれ所管する
担当課長に説明いたさせますので、慎重にご審議の上
速やかなご議決を賜りますようお願い申し上げます。